

後期は「准中級」に進級

2月26日

後期の授業開始に合わせて、25日夜に昆明に帰着。一夜明けて部屋の掃除を済ませ、インターネットの接続を確かめるべくメールボックスを開いたところ、ロシアのデニスからメールを受信。曰く、「現在、ラオスに滞在中。3月1日昆明帰着後、大学へ登録へ行く。その旨を学務課に伝言頼む」というものだった。「元気に帰ってこい」と返信してやった。

2月27日

ほぼ2ヶ月振りの昆明は桜が満開を迎えていた。私が住んでいる園通街は、わずかな距離だが通りの両側が桜並木になっていて、春の気配が溢れていた。

午後。新学期の履修登録をするために訪れた大学は学生で賑わっていた。1年半も大学に通わずいぶんたくさんの顔見知りができるものだ。あちらこちらで「好久不见(久しぶりだね)」の連続。また学生生活が始まるのだと感じた。

顔見知りの学生と再会を喜び、履修登録を終えて校舎を出たところに、前学期同じクラスだった黄美丽と青青と数人のタイ国学生が現れ、いつ帰って来たのか、日本はどうだった、新学期のクラスは決まったか、日本はどうだった、質問攻め。互いに再会を喜び合っていると、今度は学生老师



3月17日、私の誕生日を友人が祝ってくれた。<後列右から>金东渊(韓国)、上村と阿久津(日本)、王东玲和李芊(中国)、青青・陈・美丽(タイ)、永山(日本)、デニス(ロシア)、<前列右から>フェルンと美云(タイ)、私、赵兄弟(タイ)、ルーシー(チェコ)

の王东玲さんと彼女のクラスメイトが、「你好、平田」と声をかけてくれた。これまた、いつ帰って来たのか、東京はどうだった、新学期のクラスはどこか、とひとしきり質問攻めに合った。気にかけてくれる人がいるのはとても嬉しい。

夕刻、聯誼協会昆明事務所の王海琳さんの手を借りて、五华区公安局で住居登録。王さんは中国の大学で日本語を専攻し、この4月からASEAN圏の国際経済を勉強するため早稲田大学へ留学することが決まっている。日本語がとても流暢な上に英語も堪能なトライリンガルなので、将来はきっと中国と日本、東南アジアの国々を舞台に、素敵なキャリア・ウーマンとして活躍することだろう。

2月28日

留学生ビザの更新手続きと後期のクラス別け審査を受けるために大学へ。ビザ担当の王老师は私の顔を見るなり、一言も発せずただ「ウン」と頷いて、去年提出した更新申請書のコピーと新しい申請書をくれた。やはり顔と名前をしっかりと覚えられていたようだ。新しい申請書に必要事項を記入し顔写真を貼付して、パスポートと五华区公安局発行の居住許可書を添えて王老师に手渡す。王老师、ニッコリ微笑んで「好!」の一言。去年は少々面倒をかけてしまったが、どうやらブラックリスト入りは免れていたようだ。

ビザ更新手続きを終えて、4階へ移動。後期のクラス別け審査を受ける。審査担当はまったく面識のない若手の老师。氏名と前期に所属したクラス名を告げると、「初級C班」のファイルの中から私のファイルを取り出した。そこには2010年9月に入学以降、私が履修したすべての課目の成績と担当老师のコメントが記載されていた。前期の成績を確認していなかったもので、ついでに見せてもらったところ、「総合課」84点、「口語課」88点、「听力課」74点、「阅读課」95点だった。老师曰く、「中級進級は可である。が、「准中級(準中級)」で听力のレベルアップをはかっているか?」と。毛頭異論なし。今学期の重点目標と「准中級B班」への所属が決まった。

3月10日

「油菜花(菜の花)」で有名な罗平へ日帰りの小旅行。当初、4、5人で高速バスで行くことを考えていたが、同行希望者が増え総勢11人になっ

た。そこで、11人が乗車可能なバスをチャーターすることにし、バスの手配を中国人の友人に依頼した。1台2000元、1人180元少々で楽しめる算段だった。ところが、9日夜、待ち合わせの時間と場所を確認する電話をバスの運転手さんに入れたところ、「乗客の定員は10人だよ」の一言。聞いてびっくり。「乗車定員11人」は運転手を含めた数で、クルマの運転をしない友人の人数違いだった。みんな楽しみにしているのに、いままさら「キミは乗れない」などどどんな顔をして言えようか。急遽、運転手さんに「11人が乗ることができバスを探してもらえないか」と泣きこんだところ、運転手さんのコネで「乗車定員17人のバスを見つけてくれた。但し、チャーター料1日3000元。11人では1人270元少々だ。

時間は既に9日の午後9時過ぎ。タイ国の学生が携帯電話をかけた。2時間後、新たに5人の参加者を集めてくれ、総勢16人にお蔭で1人180元少々で行けることになり、胸を撫で下ろした。とともに、师范大学で最大の留学生数を誇るタイ国学生の人脈に感心した。

10日。昆明は快晴。だが、罗平は生憎の小雨混じりの寒々とした天気。青青曰く、「この天気はなぜ?」「日頃の行いが悪い人がいるのだから」と返したら、「ロ平の行いが悪い人」を叫んで大笑い。気を取り直して、油菜花畑の中にある小山の頂上に登ると、360度満開の菜の花。全員感動。雄大な景色が私の名誉を回復してくれた。

3月23日

授業開始当初、「准中B班」の学生は12人だった。最初の2週間で何人もの学生が出たり入ったりして、誰がほんとうのクラスメイトなのかかわからず、落ち着かない状況が続いた。多くの学生が自分のレベルに合った授業を探して右往左往していたらしい。授業開始からまるまる3週間が過ぎて、ようやくクラスが落ち着いていた。結局、私のクラスメイトは前期にいっしょだった韓国の车さん、金东渊、タイ国の黄美丽と双子の赵兄弟に、今期はアメリカのデイビッド、イスラエルのオムリ、タイ国の陈が加わり総勢9人となった。

车さんと赵兄弟は当初、「准中A班」に割り振られていたが、「准中B班」を希望して転班してきた。车さん曰く、「因为你(B班)平田がB班にいるから」です。またまた愉快な学園生活になりそうだ。



罗平の「油菜花」畑。去年最盛期を見逃し、今年は日頃の行いが悪い私の所為か生憎の天気だったが、とても素晴らしい景色だった。